

議会報告会実施報告書

開催日時	平成26年10月27日 19時00分 ～ 20時45分
開催場所	川津公民館
出席議員	(班長) 若杉輝久 (司会) 斉藤義明 (記録) 出田泰三 (副議長) 松田 実 (班員) 斉藤義明, 出田泰三, 村井孝彦, 楠井常夫, 若杉輝久, 松成国宏
参加市民数	42人
実施内容	議会報告
	質疑応答

- ・開会挨拶 松田 実
- ・出席議員自己紹介
- ・委員会報告 総務消防委員会 楠井常夫
教育民生委員会 松成国宏
市民建設委員会 村井孝彦
- ・質疑応答
- ・意見交換会
- ・閉会挨拶

<質疑> 子ども・子育て支援新制度で、来年4月から具体的にどう変わるのか。

<答弁> 国が待機児童解消のために設けた新しい制度ですが、今の保育所・幼稚園の制度に新しく加わるということで、坂出市の場合、4月からどうするかはまだ決まっていませんが、(今の所、既存の施設で保育量が足りているため)ガラリと変わる事はありません。今後、皆様方の色々なニーズをお伺いして、新しい坂出らしい保育制度を作っていこうということです。

<質疑> 公立の幼稚園は現在一律の保育料だが、新制度に伴って所得に応じて変更されるのか。

<答弁> 幼稚園と保育所の会計は、仮に一つの団体が出来たとしても別々に提出するそうです。ですから、※幼稚園の固定の保育料は同じです。

※ 公立幼稚園は新制度に移行するため、一律6千円の保育料から、世帯の所得の状況等を勘案して定める応能負担に変更されます。保育料は、現行の幼稚園等の利用者負担の水準をもとに国が定める水準を上限として、実施主体である市町村が定めることとされていますが、来年4月の新制度移行に向けて、現在、鋭意検討しています。【議会報告会終了後、担当課に確認】

	<p><質疑> 新市立病院では産婦人科は開設されないそうだが。</p> <p><答弁> 産婦人科医は全国的にも少なく、特に、香川県は厳しい。未だに3名の産婦人科医の確保が出来ないため、婦人科はやるが産科の再開は難しいのが現状。</p> <p><質疑> 循環バスの新しい西回りルート「寿町」、移転後は「市立病院」に変更した方が良いのでは。</p> <p><答弁> 恐らくそうなると思います。</p> <p><質疑> 川津から（循環バス使って）江尻方面に行くとしたら、駅で乗り換えるため200円要るのか。</p> <p><答弁> 西ルートのバス停から駅まで行って、10分程度待つ頂いた後、乗り継ぎ券をもらっておけば、東ルートのバスを使って江尻まで100円で行けます。</p>
意見交換	<p><意見> 前回の議会報告会でも質問したが、未登記の土地が沢山あって色々な障害が出ている。未登記の土地が増える理由は、一筆毎の費用が多額だから。昔は市が全て肩代わりしていたが、途中で変更した。市から地方の問題として、もっと積極的に国にあげて、解決して行かなければ大変な問題になると思う。その後の市の取り組みを聞きたい。それと地籍調査。やはりやり易い所からやった方が良くと思うがどうか。</p> <p><答弁> 地籍調査は防災上の観点から、予想される南海地震に対応するため概ね海岸地区から実施しています。それを例えば今、川津からやれと市議会の方で検討したりする所まで至っておりません。</p> <p>分筆の話は正に国策。市議会としてこれを討議した事はありません。ただ、地元国会議員に、こういうのが地元の一番の問題点だという話はしております。</p> <p><意見> デマンド型乗合タクシーは坂出駅まで行かないと、途中で降りられないが、新しく開院する市立病院の前で乗り降りは出来ないのか。</p> <p><答弁> 今のような話は、全て坂出市地域公共交通活性化協議会の場で決まります。当然検討課題には入っていますが、そう簡単には出来ません。とりあえず、循環バスとの連動で対応しますが、他にも例えば、市がもう1台バスを購入して駅と市立病院を結ぶ循環バスを走らせるなど、色々な発想があるので、これを集約して協議会で改善していくしかありません。いずれにしても、大幅に一気に改善というのは難しいと思います。</p> <p><意見> 瀬戸大橋駅伝が、先日の理事会で「年明けの25回大会で打ち切る」と言われた。一番の目的は市の活性化ではないか。行政は各地区の意見を聞いて、継続して欲しい。</p>

<答弁> 教育民生委員会で打ち切りの話あったように思う。ご意見を持ち帰って執行部に話をするが、今から元へ戻すかと言えば中々、難しい。

<答弁> やっている人の気持ち考えたら、いかがなものかという気がする。持ち帰って検討させて下さい。

<意見> 今の話聞いていると、明日の代議員会に出る必要が無い。今さら「持ち帰って議会で・・・」と言うが、議員が言うのと覆せるのか？絶対に無理でしょう、出来る訳がない。駅伝に代わるものを検討中と言うのなら、それを議会で煮詰めてもらって公表した方が良いのではないかと思います。

それからもう一点。子育て会議もあったけど、この中に「障がい者」という言葉が一切出ていない。今、骨子の段階だが、そういう話は議員の方へは下りていないのか。

<答弁> 教育民生委員会の場で、障がい児の事については一切触れてなかったですね。

<意見> 先日、障がい者・障がい児に対して坂出市内1600軒のアンケート調査（無作為、回収率46.8%）を実施したが、そういう話一切来ていませんか？それをよく読んで下さい。また、障がい者の方からたくさんの要望書が出ているので、これも一度読んで下さい。例えば、避難所の中に洋式トイレが一つも無いとか等々。高齢者・障がい者に対する支援、地元で考えるが、行政の方でもやはり考え、連携・強化を図っていきべきだと思う。

<答弁> 分かりました。今お聞きした内容、しっかりと市の方にも再度聞き質していきたいと思えます。

<意見> 要援護者の名簿の問題。市の縦割り行政で一番苦慮している。危機監理室で出せ、ふくし課で出せと。なぜそれを統一しないのか。ふくし課へ行けば要援護者の名簿はあるのに。また、ある地区で今回要援護者のマップ作ったが、どこへ出したら良いのか分からない。結局、連合自治会長が保管して、全然活用が無い、埃を被っているのが現実。ふくし課へ行けば全てのデータが入っている。今後の災害発生考えた場合、関係する各担当課が横並びで見れるようにすべきと思うが。

<答弁> その通りだと思います。縦割り行政の一番悪い所が、出ていると認識しておりますので、議会としてこれを無くすよう提言したいと思います。

<答弁> おっしゃる通りだと思いますが、実は、個人情報保護法の関連がありまして、国会でも議論されています。縦割り行政も問題ですが、その辺の関係もあって、市の方も苦慮していると伺っています。貴重なご意見いただいたので、今後、理事者側と

しっかりと議論し、変えられるところは変えていきたいと思いません。

<意見> 坂出市議会として何を最重点にやろうとしているのかが見えてこない。年に1つ位の目標掲げて全員で取り組んで頂きたい。市民は対策と結果が欲しい。

<答弁> 特に坂出市の場合、人口減少問題が一番で、取り組んでいきたいと思っています。

<答弁> 貴重なご意見ありがとうございます。まだまだ我々が一つになってやっているという姿、皆さん方に見えて来ない、その通りだと我々も反省しています。議会基本条例作って3年目、我々まだ議員同士の自由討議が出来ていない。これをやって行こうと。そこから市民が求める、我々が政策立案できるものとして何があるかという事に進んで行こうと思っています。まだまだ身中ですが、皆様のご支援を得ながらしっかりと頑張っていきたいと思いません。